

令和6年5月16日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター 農業試験場
総合研究部
直通：076-283-0073

令和6年度病害虫発生予察 注意報第1号

今後多発生が予想される果樹のカメムシ類の発生時期や発生量、防除上の注意事項について掲載します。

1 注意報の内容

病害虫名：果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ等)
対象地域：県内全域
発生量：多

2 注意報発表の根拠

- (1) 本年の果樹カメムシ類の予察灯への初飛来日は、クサギカメムシが5月3日(平年比-13日)、チャバネアオカメムシが5月5日(平年比-17日)と早くなっている。
- (2) 5月第2半旬までの果樹カメムシ類の予察灯への誘殺数は、チャバネアオカメムシが58頭(平年0頭)、クサギカメムシが14頭(平年0.6頭)で、平年値を大きく上回っている。
- (3) 1か月の気象予報(令和6年5月9日付新潟地方気象台発表)によると、気温は高いと予想されており、果樹カメムシ類の増殖・活動が活発になると推測される。

3. 防除上の注意事項

- (1) 山林に近い園では特に被害が多くなる傾向があるので十分注意する。
- (2) 地域の防除暦にしたがって、薬剤散布を実施する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。

【参考資料】

果樹カメムシ類について

1 果樹カメムシ類とは

果樹カメムシ類とは、りんご、なし、もも、かき等、果樹の果実を吸汁加害するカメムシの総称です。

本県に発生する主な果樹カメムシは、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシの3種類（下図）です。



左からクサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ

2 果樹カメムシ類の生態と被害

果樹カメムシ類は、山林のスギ、ヒノキなどの球果を餌に繁殖し、果樹園に飛来します。昨年はスギの球果量が多く暖冬であったことから、山林での果樹カメムシ類の越冬量も多かったと推察されます。

これら山林で越冬したカメムシの成虫が果樹園に飛来し被害を及ぼすので、本年は、果樹園へのカメムシ類の飛来に注意が必要です。

被害果実の症状は、カメムシの吸汁により果実が落下したり、果実表面に凸凹が生じ奇形果（右図）となったり、吸汁部の果肉がスポンジ状になる症状が見られます。

